

見直しましょう！

医療機関への受診のしかた

重複・はしご受診はやめましょう

「お医者さんと相性がよくない」「処方してもらった薬が効かない」「会社の近くでも受診しよう」など、理由はいろいろかもしれませんが、同じ病気・症状で2ヵ所以上の医療機関を受診することを重複・はしご受診といい、多くのデメリットがあります。

治療が中途半端に

薬の効果がでるまでに、ある程度の時間がかかる薬があります。2〜3日のんで効かないので違う病院を受診し、違う薬に変更していると、結局どの薬が有効なのか判断しにくく、治療方針がたてにくくなってしまふ場合があります。

時間の無駄

病院を変えるたびに問診や検査をし、その分多くの時間がかかってしまいます。

からだに負担

同じような検査が繰り返され、また薬が重複して処方される場合があります。

医療費も大きな負担に

転院を繰り返すと、初診料・再診料だけでも2倍に（下表参照）。

	同じ病院に通っている場合	重複・はしご受診の場合
1 回目	初診料 2,820 円 (+ 検査料など)	初診料 2,820 円 (+ 検査料など)
2 回目	再診料 720 円	初診料 2,820 円 (+ 検査料など)
3 回目	再診料 720 円	初診料 2,820 円 (+ 検査料など)
合計	4,260 円 + 1 回分の検査料など	8,460 円 + 3 回分の検査料など

※窓口での実際の支払いは上記の1〜3割

高額!



今、受けている治療に不安がある場合は、かかりつけ医に相談するようにしましょう。

IBM 健保組合では、重複受診と思われる方にアプローチを行っています

IBM 健保組合では、被保険者を対象として、主に重複受診（頻回受診を含む）と思われるケースをレセプト（診療報酬明細書）から抽出しています。具体的には表のような調査を行い、その結果に基づいて対象となった方々にアプローチを行いました。ご本人は重複していることに気がつかない場合もありますので、この機会に受診のしかたを見直しましょう。

●加入者の受療動向に関する調査

調査内容	「重複・頻回」受診者実態調査
調査対象者	被保険者
調査データ	レセプトデータ
該当条件	同じ月の中で、複数の医療機関を3ヵ月連続で受診する等のケース（類似ケースを含む）
調査結果を踏まえたアプローチ	受診状況に応じて書簡の送付やアンケート等を行い、適正受診を促します。

医療機関への「間違った受診のしかた」は、からだへの負担も医療費の負担も大きいなど、マイナス面ばかりです。特に最近では、「重複受診」などが目立つようになり、問題視されています。

薬のもらいすぎやのみ合わせに注意しましょう

お薬手帳を利用すると、自己負担が軽減されます

また、いくつかの病院を受診している場合は、同じような効果のある薬が重複して処方されてしまう場合があります。また、のみ合わせによっては、副作用を生じる場合があるので、「お薬手帳」を活用し、すでに処方されている薬を医師や薬剤師に伝えて、のみ合わせに注意するようにしましょう。

こんな受診のしかたもやめましょう

緊急ではない診療時間外の受診

診療時間外や深夜、休日に病院や診療所を受診すると、初診料、再診料にそれぞれ加算されるため、医療費がかさみます。薬局の場合も同様で、時間外や日曜・祝日等、深夜だと調剤技術料が2〜3倍になります。

初診から「大病院」を受診

大病院などのいわゆる大病院を紹介状なしに受診すると、ほとんどの場合、通常の医療費とは別に全額自己負担の特別料金を請求されます。近所の医院・診療所などにかかりつけ医を持ち、まずはその医師に相談しましょう。